

日本放射線治療専門放射線技師認定機構の一般社団法人格取得について

日本放射線治療専門放射線技師認定機構

理事長 奥村雅彦

日本放射線治療専門放射線技師認定機構は、（公社）日本放射線技術学会、（公社）日本放射線腫瘍学会、（公社）日本診療放射線技師会の3学会により2005年3月に発足され、認定教育セミナーと認定試験の実施を行い、また高度専門教育の普及推進を目的として全国13地区の教育指導者を中心に座学や実機を用いた講習会の開催をしてまいりました。この結果、これまでの15年間で1993名の放射線治療専門放射線技師を放射線治療の現場に輩出することができました。今後も厳粛に認定事業を進めて行くと共に高度化する放射線治療技術に対応できる専門技師教育を進めて参りたいと思っております。

当機構は2005年の設立以来、いわゆる任意団体として活動してまいりました。認定事業や卒後専門技師教育などを通して社会貢献した結果、現在では本機構の専門放射線技師が診療放射線技師の放射線治療分野における専門性とし

て広く認知されるに至りました。そのような背景から、機構の今後の事業継続性を高めていく時期に来たと判断し、昨年度の評議員会でご承認をいただき、法人化を進めることとなりました。

法人格取得に向けては、一昨年より成田浩人専務理事、渡邊良晴監事を中心に、理事長、佐藤弘史副理事長を含む4人でワーキンググループを設置して検討を進め、法人化するメリット、デメリット、本機構の組織構成および活動状況と今後の運営や方向性を視野に入れながら慎重に議論しました。その結果、「一般社団法人」とすることを理事会で決定し、定款および規程の整備を進めたうえで、2019年8月1日に「一般社団法人 日本放射線治療専門放射線技師認定機構」を設立いたしました。2020年3月7日に開催された評議員会において、全会一致で任意団体から法人への事業移管をご承認いただいたところであり、来る4月1日より新法人での事業を開始いたします。

本機構はこれからも安全・安心な医療を患者へ提供できる放射線治療専門放射線技師の育成とその専門教育を推進していき、高度な医療の実践にも貢献できる優れた人材を輩出すべく事業を展開していきたいと思っております。今後も本機構発展のためのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。